
恋姫†無双オンライン

山本君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋姫†無双オンライン

【Nコード】

N9996Y

【作者名】

山本君

【あらすじ】

恋姫無双……前世紀において、歴史美少女物というジャンルにあつて、一時代を築いた作品とされているゲームタイトル。

そして、今世紀初頭に開発された、仮想現実に入る為のシステムが民間で実用化されて以来、幾度かリメイクされている為に、その知名度・人気は高い。

しかし、主人公「ホンゴウ・カズト」その人に配置されての追体験に主眼を置かれていた、今までのそれらは、残念ながら佳作の内に終わる事が多かった。

そんな中、「真・恋姫無双」を多人数参加型のフルダイブ型ロールプレイ、しかもギリギリまで制限を外し、「戦争も恋もギリギリ」を謳い文句にした、ビッグタイトルが急浮上した。

開発から発表までの紆余曲折、新技術の導入やブレイクスルー、既存の規制からの脱却……。

それこそ「某プロジェクトなんか」じみた話もあったが、今回の話には関係ない。

この話は唐突な泡銭を抱え、現実に辟易した主人公が、他人に渡す位ならとゲームに金を注ぎ込み、のめり込んでいく。

そんな話です。

バイト先の先輩に、人数合わせで連れてかれたカラオケの後、ラーメン屋に行く途中で何気なく皆で買ったロトくじ。

丁度キャリアオーバーで二十億ちょいの週に八人当選、そのうち三口買った俺に八億程転がり込む事に。

まるでどこかのラノベ染みた出来事に、何かしらの出会いや出来事が始まるのかと、期待半分のおっかなびつくりで数日過ごしてみたものの、まったく言って良い程に何時もの生活が続いている。

いや、悪い意味での変化は有ったか。

何処から漏れたのか、通ってる大学の中に当選者が居るらしいとかな噂が流れたし、何故か苦学生アピールする連中が増えた。

奇特な奴が金でも回してくれると考えているのやら……元から貧乏でバイト三昧の苦学生やってる俺までが、同じような括りで眺められるのは中々に業腹なので辞めていただきたいものだ。

さて、八億の使い道だが一括で貰うと目減りする為、半金の四億貰って後の半金は十年分割というプランに。

この先の十年間は、月あたり三百万オーバーの入金がある事になる……なんか、こういう事になると、人生が十年以内に終わったらどうしようとかいう、馬鹿な事を考えてしまうな。

とりあえずの四億の内、苦労掛けている両親に一億程送っておいた。

少なくとも、これで家のローンだとか修繕費だとか差っぴいても俺が働きたすのも併せて、年金貰う辺まで安泰だろう……無茶な使い方する程に多趣味でもないし。

それから、年金やらの先払い出来る奴は突っ込んでおく。

国民年金は一年払いしか出来ないのはどうかと思うが……個人年

金等では、入院保障のある終身の奴を三社程に撒いて全払いしておいた。

そんなこんなで将来の安心を、気持ちだけでも準備できたので、目先の欲に走ろうと思う。

人によれば、車買ったり贅沢したりって方に走るかもしれないが、俺としては、今の生活を大きく変えるのも面倒くさいので、興味の有ったダイブ系のゲームに走ろうと思う。

今まで、バイト先の慰安旅行とかの際、アミューズメントセンターで体験した事はあるが、中々刺激的な代物だった。

ただ残念な事に、今のアパートには、ダイブに必要な機器を置くのが困難という事で、別途にマンションを購入する羽目になってしまった。

賃貸でも良かったのだが、割と近くにダイブのシステム込みで千五百万位の物件（新築以来入居なし三年落ち）があり、北の端部屋で微妙に狭かったりするのだが、どうせダイブする時に使う位で週末しか来ないような所だしと、即金で購入。

今になって思うと、湿気とかどうなんだろうと若干不安である。

色々面倒くさかったのと、気が大きくなってたんだろう。

ともかくそんな感じで今の生活のうち、週末のバイトを削り、空いた時間でダイブ三昧の準備は出来たのだった。

新しい生活の初めての週末。

この日までに、色々とネットで情報収集を始め、何が良さそうかと調べた結果、戦闘メインのファンタジーやFPSはチーム的な事が基本で、一見には厳しい物が有るようだし、ロボットや戦闘機に乗ってのアクションシューティングも、あまりやり込む性質でもないのでパス。

となると、R18枠のアダルトかなーと色々探っていると、戦闘もあり恋愛もあり、立ち位置によって、役人では内政物、商人になれば成り上がり、將軍や武将になつての采配や一騎打ち、一兵士での殴り合い、野盜や荒くれ者でヒヤッハも可能というタイトルを発見した。

タイトル名『真・恋姫無双真Empires立志伝 parallel dive』一見、某歴史メーカーのタイトルかと思う代物だが、れっきとしたアダルト枠だ。

ぱつとみて、一体、何をすれば良いのかと悩む所だが、簡単に言うところ、外史という三国志世界のパラルワールドで好き勝手しろ（意識）とパッケージのクイックスタートに書いてあった。

基本的には、同名コンシューマーのタイトルと同じような流れの歴史の中で（若干の設定のブレは意図的に入れてあるそうだが）一兵士だとか役人だとかになって過ごす事になる。

その中で、恋姫武将と色々……な訳だが、パラルダイブ（複数人同時没入）というジャンル上、他のプレイヤーの影響も出てくる為、攻略対象が被ると残念な事になったりもする。

更には「ホンゴウ・カズト」という、本来の主人公まで居る訳で、中々にオリジナルのメンバーは難易度が高いようだ。

まあ、一般モブ・ネームドモブ・ユニークモブ等も用意されている為、キャラクターに拘りなく、単に色々するだけなら、それ程の

難易度はないらしいのが救いか。

また、外史一周の時間は感覚が圧縮されている為に約一時間とお手軽。

セーブなどは無く、一発勝負で、死んだら途中退場。

まあ、自分でリタイヤした以外では、一分以内に次の外史が始まるので、其れにJOINすれば良い。

自分でリタイヤした場合は、抜けた外史が終わるまで再スタート出来ない。

等というチュートリアルを流しつつ、基本のパッケージ分のインストールが終了した後、更新分のダウンロードとインストールが進んでいく。

さて、しばらくして、コンソールに作業終了の表示が出て機体が再起動。

ショートカットからタイトルを起動、初期設定のキャッシュカードの登録やポイント購入の自動追加払い込み方法等等々が済み、タイトル開始メニューが表示されると、自動でキャラクターの新規作成が始まった。

キャラクター自体は幾つか登録できる物を、繰り返す外史の中で使いまわす事になる。

各キャラクター毎に成長要素もあり、レベルが上がれば、其れなりに攻略等で有利になるとか。

パラ的には大雑把に統率・武力・知力・政治力・魅力・運といった、ありがちな代物だが、他にもスキルだの特性だの隠しパラだのが存在するようだ。

まあ、最初に決められるのは初めに挙げた6つの能力値だけらしいので、余り気にする部分はないみたいだが。

「ふむ、名前はどうか」

基本的に、主人公である「北郷一刀」を見るように、まんまの名前でも構わないようだが（アイテムで、一周だけ名前を変更する代物もあるそうだし）ここは、それっぽい名前にしておこう。

三国志で金持ちといえば……袁家だったり、金使いでは演技の魯肅が色々と逸話があるそうだけでも、此処は水滸伝から盧俊義とか……無いわな。

趙員外……誰も判らんな。

やめた、姓は金、名は千、字は満腹にしよう。

『金満腹』、ラーメン屋の親父か……斬新すぎる。

アヴァターも、自分取り込みとかやってられないので、ランダムでモブっぽい奴を……おお、ちよい背が低い小太りの中年オヤジ、小金を持ってそうだけど、そこはかとなく女運とか無さそうな酒屋のオッサンみたいなのが出来たな（でもハゲじゃないのは拘りだ）そんな感じで、サクツと名前を入力してやると、パラメーターが表示された。

統率 18・武力 13・知力 18・政治 21・魅力 20・運 19

ボーナス：42

大凡、13から21迄に収まっているが、プレイヤーのベース能力値はマックス40（運除く）までらしいので、特に振り直しはせずにボーナスポイントを振る事にする。

ボーナスポイントは42ポイント……能力値の低い物を一つ40にしてしまいか、高い物を二つ40に上げるか、制限のない運に突っ込むか、はたまた万遍なく上げるか……WIKIを見ると、できれば二つは40にしておくのが良いとされていた。

そうして、複数キャラを作って、方向性を変えて登録するのが基本のようだが……。

T i p s .

Q・お勧めの初期キャラ、パラ振りは？

A・出来れば、統率・武力マックスの余りを知力振りか、政治・知力マックスの、余りを統率振り。

軍閥トッププレイの魅力・運振りは素人にはお勧めできない。

A・初期に、一番高いポイントの能力値には、隠しパラ乗るので、マックス振りのポイントが二つよりは39・40にするのがお勧め（未確認）

A・マイ外史の事とか考えたら、運に一点振りで、作成後にパラUP突っ込んで、オール40スタートの1キャラプレイが最強じゃねえ？

A・運以外40にするのに、平均20突っ込んで計100ポイントUPで十万か、今まで突っ込んだ課金アイテム考えたら高いのか安いのか……なんにしろ、懐が寒くなるな。

という書き込みが有ったので、やってみる事にする。

運に全振りで61まで上げて、キャラクター作成。

その後、パラUPアイテムを、110個購入……十一万円なり。

さあ、キャラクターが作成完了。

課金アイテム突っ込んで、初期とは思えないパラメーターだが、レベルが低いので色々足りない部分は有るだろうから（熟練度っぽい物が有るようだ）この先の成長に期待だ。

で、ここまでは、ダイブシステム付属のコンソールから作業していたのだが、この先は作品にダイブしての行動になる。

今までにも何回かは体験している物の、自分専用の機械からのダイブというのは、中々に感じが違うものだと思う。

強いて言うなれば、平日の夜と連休前の金曜の夜の違いとか？

基本的に際限なく、自分でやめたいと思う迄続けられるとか、半端じゃなくテンションが上がる。

よし、始めよう。

ダイブといっても、液体の入ったポッドみたいな大がかりな代物は必要ない。

サブコンソール用のHUDグラス（こめかみにサブの受信機）と、首の後ろにセットする送受信機兼ミキサのヘッドセットに、右手が左手の筋電位マウスグローブ付けて完了。

後は楽な姿勢で横になればOK。

そのうちに半覚醒状態に移行し、安定すればタイトルがスタートする。

感覚的には、一瞬、気が遠くなっていたかと感じた次の瞬間には、ダイブ状態に移行しているといった感じだ。

今回も、何かに気を取られていたような状態から、ハッとした時には、自分が水中に居るような浮遊状態になっていた。

目の前には、メニューを模した球体が浮かんでいる。

それらに触れながら、「キャラクター選択」、「新たな外史へ」と進む。

「いらっしゃーああい　お・は・つ　のお客様ねえん」

いきなり、何か唸るような音が、世界を震わせた。

「あーら、驚かせちゃったかしらあん。

わ・た・し、当ダイブタイトルのチュートリアルを担当するパソナルの貂蟬よおん」

ぐはあ、無言で、右手のイメージを操作。

オプションを開いて、設定を変更しようとして……。

「ごらあ、誰が超リアルホラーのボスも慄く、発禁グロだとお!!」

誰もそんな事は言っていない。

「と・に・か・くう、チュートリアルが終わるまでは、設定変更不可よおん」

これはキツイ。

見てもないのに、筋肉マッチョがくねくねしているイメージが伝わってくる。

なんで、こんな所に力入ってるんだ。

「まずは、スタート位置の設定ねん。

本当はランダム設定か、マップ表示の中から選択してもらうんだけど、

今回はチュートリアルだから、此方で指定させて貰うわよん」

メニューが開き、位置指定設定へ進み、マップ上の光点がマップ上部へ移動していく。

光点が止まり、意思確認がYで進む。

幽州か……確か、地味の人のお膝元か。

「じゃあ、開始するわねん」

言葉が終わるか終わらないかの瞬間、風景が切り替わり、自分の姿が登録してあったアヴァターに置き替わる。

体に重力を感じ、肌に風を判じる感覚が、意識を鮮明にさせる。

でも、半分寝てるんだよなあと、変な感心をしてしまう。

腹を触ると太鼓腹の感触。

そのくせ、能力値のせいかな身は軽い。

そんな違和感を楽しんでいると、声が降って来る。

「時間はスタート時点から少し進めてあるわ。

星ちゃんが客将になっていて、貴方は白蓮ちゃんに以前から仕えてるってところかしらん」

なるほど、やはり普通の人に仕えているのか。

自分の風体を見ると、御用聞きの商人だか下っ端役人だかの、どちらでもいけそうな感じだが、どの程度の位置に居るんだろうか。

「うーむ」

「金千どの？」

腕を組んで首を傾げていると、不思議そうな声で、脇から声を掛けられた。

今まで、マツチヨの声に慣らされていたせいか、リアルで鈴の鳴るようなという喩えを頭に浮かべる事になった。
って、感心している場合じゃないな。

「おっと、これは失礼」

振り向くと、何という……艶やかな。

ぶっちゃけデザインは中国舐めてんのかって風に、あり得ないのだが、胸元足元の挑発度合いに全てを持っていかれて納得させられてしまう。

健康的な色気というには透き通るように白い肌が艶かく、仄かに朱に染まっているのは調練でも行っていたのであるうか。
思わずガン見してしまいそうになるが。

「駄目よん、乙女の柔肌ガン見しちゃ。

紳士たるもの、焦っちゃ駄・目。

でも、そのパトス、ああん、あつついわああん」

絶対に、お前にや注がねえよ！！

うげえ……思わず変な想像になりかけて意識が飛びそうになったわ。

「これはこれは、趙雲殿。いつも変わらずに、お美しい」

「いやいや金千どの。そのように真っ直ぐ褒められると、参りましたな」

意識がそれた後、勝手にキャラが応対している。

「今みたいに、プレイヤーとキャラクターの同調が離れると、体感時間が加速されて、キャラクターは自律して動き出すの。」

キャラクターは特に対象や行動を指定していないなら、基本的に無難な行動をするから、よっぽど微妙な情勢でもなければ変な事にはならないわ、安心してねん」

気がつくのと、趙雲の姿はなく、いつの間にか部屋で竹巻もって書き物をしていた。

この辺も自律して勝手に進んでいるらしいが。

「あ、そうそう。自律している時の行動の達成度は能力値基準になるのだけど、意識して行動することで、効果を上げる事ができるわ。

簡単に言うと、運のパラメーターを消費して、不足分の能力値のかさ上げだったり、成果の達成度を上昇させたりできるのよん。

運のパラメーターは暫くすれば、上限までゆっくり回復するから、旨く使ってねん」

それからも、兵の訓練だの政務の進め方だの、基本的な行為判定なんかを、割とちゃんと解説してくれるマツチヨに感謝しつつ、チュートリアルを進めていく。

基本的に能力値が足りている為か、特に失敗もない。

「あらん、能力の及ばない行為判定について、運のパラメーターを使ったカバリングのチュートリアルが出来なかったわねん。

あなたってば凄いのねえ」

言外にどんな意味が含まれているのか気になったが、褒め言葉と思っスルしておいた。

「それじゃあ、最後にイベントの処理を行っわよん」

「イベント？」

「今まではあくまでも日常の行為ねん。

基本的に外史の流れには影響の出ない、競う相手もない己の評価を積み上げたり経験を積むような事柄だったのね。

今から始まるイベントは、対プレイヤーだったり、外史の基本線にズレを起こすような戦争だったり結果の変更だったりするのよん

」

地味な人にそんなイベントってあったんだっけか？

どうやら普通の人は、イベントに巻き込まれる側だったらしい。城下に『劉』旗を挙げた団体さんがやってきて、騒ぎになっているそう。

どうやら、自分のキャラクター、内政やってる下っ端の役人じゃなく、それなり以上の決定権握られてる上に、趙雲さんに公孫賛さまの下下次の次の次くらいの隊長職までやっているそう。

どんだけ人が居らんのだ。

王門、関靖、嚴綱、単経、田楷、田豫あたりは居るっぽいけど、モブなのか名前だけで登場しないし。

仕方ないので、警備の兵を引き連れて、城下に押し出ると。

「金千どの」

趙雲さんが、騒ぎを聞きつけて、やってきてしまった。

どう考えても蜀への移籍フラグだな。

確かにコンシューマーのタイトルでも、蜀ルートでこんなイベントがあった。

北郷さんの仕込みで、劉備さんが普通の人になるに行くような話だったか。

主人公視点だと、なんかうまくやった感じだったが、こっち側に居て、こうこられると迷惑すぎる話だな。

つか、主人公登場なのか!?

うわ、チュートリアルのは最後は負けイベントかよ!!

「そこは、あなたの腕次第ねん」

どう考えても無理臭い所へ、マツチヨの声に促され進むことに。

城下に出ると、野次馬と不安におののく民の声、迷惑すぎる相手は、なんか旗と武将だけは立派で、後ろに並ぶというかついて回ってる連中は貧相なことこの上ない。

どう見ても盗賊団です、ありがとうございました。

「とにかく、やるべきは劉備と普通の人の面会阻止。
できればこのままお帰り頂くってところか」

と思ってる脇で。

「ほほう、なかなか」とか、趙雲さんが、なんか良く判らん部分で、ファーストインプレッションを受けたようです。

先を思いやられながらも、とにかく仕事をするしかない。

「その連中待て！！ 城下を騒がせるとは何事か！！
さっさと出て行かねば、「我らは劉備玄德、天の御遣い率いる義
勇軍である！！」おうふ」

「ほほう、あれが噂の……」

……趙雲さんよ、完全に見物モードか。
関羽さんも話を聞けよなあ。

「劉備様のご学友、公孫伯珪殿に目通り願いたい！！」

見た目、そんなに大柄でも無い美人さんなのになあ。
やたら声がでかいし、馬乗ってるから見下ろされて、凄い勢いで
威圧されるし。

どうみても、俺の事は木端役人というか、モブ扱いですね、兵士
Aとかか。

黄巾の色違い使いまわし辺りに見えてるのか。
いや、こつち見てないか。

なんとなく、趙雲さんの方を気にしてるのか。
おかげで、近くで見上げると、えらいミニで馬乗ってるから……
白いのがチラチラしてるんですが。

じゃなくて。

「確かに、劉備どのの名は聞いた事がありますな。
天の御遣いという者の噂も聞いた事が有りますが……」

「それでは、」

「それと面会は別の話ですな。
義勇軍と申されましたが……どうみても、この街で見覚えのある、
あぶれ者を集めただけにしか見えませんぞ。

大体において、給金を提示しての募兵に応じなかったこの連中が、
いきなり志に目覚めてなんぞ……。

ちゃんちゃら可笑しいわ!!

きさまら、本気で義勇軍だというなら、今から賊の討伐に行つて
貰おうか!!

そこで死んだら、実家に見舞金の一つでも包んでやろつさ!!」

俺の一喝に、蜘蛛の子を散らすよう、ばらけて逃げ去る、あぶれ
者連中。

「で、面会でしたか……」

「はは、は」

なんか、乾いた笑いで固まってる、劉備さん御一行。

「策を用いて取り入ろうとされるなど、ご友人といえど許される事

ではありませんな。

申し訳ありませんが、お引き取りを」

ちと怖いが、一步踏み出して、城門を指差す。

「ふむふむ、これは金千どのが一本上手でしたなあ」

こいつ、メンマをツマミに酒呑んでやがる。

「ですが、そう堅い事を言わずに、取り次いでやってもよいのではないですか？」

「ほんとか!!」

「趙雲どの!？」

ぐああ、後ろから撃たれたああ。

主人公さんが、凄い勢いで食いついて来てるし。

「ご学友を追い返したとなれば、伯珪どのも残念がるのではありませんかな？」

「其れは御尤もですが、どう見ても己の基盤の無さを棚上げして此方に頼る気の者を。」

しかも平身低頭して乞うならば、いざ知らず。

策を弄してなし崩しに、人の良さに付けこもう等と、徳ある者の行いとは思えぬ所業。

そんな者を、勝手・狭量と言われようと、取り次ぐ訳にはいきませんな!!」

これでどうだ!!

「あーら、お見事ねん。

プレイヤーの行動は、そのロールプレイでも能力値の優劣以外の部分で作用するの。

今のは相手の裏技めいた行いを、物の道理を押した正攻法で押し返したから、結構きいてるわよお」

マツチヨの解説はいったー。

「貴様、桃香さまを愚弄するか！！」「お姉ちゃんをいじめるなのだ！！」

「お願いします、白蓮ちゃんに会わせて下さい！！」「騙そうとしたのは俺のせいなんだ、だから頼む、桃香を会わせてやってくれな
いか！！」

力づくの詰め寄り、そして劉備さんから凄まじい、お願いパワーが！？

何というフェイス・フラッシュ。

これが、漢王朝皇族の力かあ！！

因みに主人公さんからは、女性限定なのか、特に何も感じなかったが。

じゃなくて、抵抗しないと、なし崩しにズルズル行ってしまう
うだ。

「なら、ここで、運を使つてのりカバリーねん」

運の61ポイント全てを、魅力の40にのせて、抵抗！！
流されそうだった場の勢いが、此方に戻って来た。

恐らくは、序盤で未だ覚醒前の劉備さんだったおかげで、抵抗が
出来たんだろう。

この勢いなら言える。

「だが断る！！」

そこからは、一瞬の内に全てが起こった。

断られて、へちゃんと腰を落とす劉備さん。

失意に固まる主人公。

激昂・マジ切れして、得物を振り上げる関羽・張飛の二人。

流石に、割って入ろうとする趙雲さん。

目の前であー、ヤバイなーと思いつつ、動けない俺。

ゆっくり動く中で、趙雲さんの槍が、おチビさんの蛇矛を反らし、火花が散る。

其れを見て、関羽さんは一瞬、我に返ったか刃が鈍り、なんとかたたっ切られずに済みそうに思えた所で、眼の端に普通の人がやってくるのが見え。

このままだと、なんか結局はシナリオ通りになってしまいそうで、妙にムカついたので。

止まりかけた刃に向かって、一歩踏み込んでみた。

バツサリ・ズバア

なんか、そんなギャグっぽい擬音が書き文字にされそうな呆気無さで、肩口から胸元に浅く傷が走った。

一瞬、何も感じなくて、おや？　と思った途端、傷に沿って熱の線が走った。

アツイ・イタイ・アツイ・イタイ、実際は随分と減衰している筈なんだろうけど、上手い事死ねなくて、気絶もしない程度のダメージが、俺の神経を思いつきり痛めつけてくれる。

こりゃ確かに、成人粋だわ。

どれくらいの時間が続いているのか判らないが、周囲の動きが微かに見える。

普通の人が何か叫んで、趙雲さんはびっくりした顔で、此方を見ていた。

俺と視線が遭ったので、空元気押しでニヤリしてみると、何が受けたのか、堪え切れないように、大笑いをかましていた。

其処ら辺を見た後は、何も覚えていない。

次に見た景色は、相変わらず、外史世界の中だった。

どうやら、ゲームオーバーにはならなかった模様。

自室の寝台から体を起こすと、何故か趙雲さんが傍らに居て、一人酒盛りをしていた。

相変わらず、ツマミはメンマか。

体には、違和感というか、鈍い圧迫感を感じる。

傷の分の行動ペナルティのようなものだろう。

継続的に痛みを押し付けられる仕様じゃなくて良かった。

さて、あれからどうなった？

ステータスというか、情報画面を見ると、あれから丸二日経っているらしい。

物問いたげな顔をしていたのか、趙雲さんが「無茶をしますなあ」と、ひとしきり笑ってから、あれからの事を教えてくれた。

結果から言うと、俺の企んだ通り、流石に配下たたっ切られては、普通の人も劉備さんを友人扱いは出来なかったらしい。

幾らか餞別を渡して、放り出す予定らしいが、今は謹慎させているそうだ。

「それで、趙雲さんは？」

何をしてらっしゃるの？ と問いかけようとした所で。

「どうか、星と呼んで頂きたい」

「おや、どうという風の吹きまわしで？」

真名は未だ、誰にも預けていなかったようですが。

「いや、色々と感じ入る所がありましたな。

我ながら、随分と金千どのを見くびっておったなと。

己の増長、見る目の無さなど、色々と思い知らされ、目から鱗でしたぞ」

「ほほう」

「例えばですな、あの全てを惹きつけずにはいられない、あの劉備どのの媚を吹き払う気迫」

「ほう……」

「天の御遣いの名に怖じず、策を弄した非を断じる信念」

「ほう……」

「最後に英雄豪傑たる、関雲長に笑って斬られにいく胆力。

この趙子竜、引けを取るつもりはありませぬが、あの真似はできませんぞ」

「は、はははは、は」

もう二度とやんねえよ！！

ばったりと寝台へ倒れ込んだ。

「あらん、随分と流れが変わっちゃったわねえ。

予定だと白蓮ちゃんと真名交換するスケジュールだったんだけど」

あ、マツチヨの声か。

そうだったのね、普通の人。

チュートリアルに使われるんだ……普通の人。

「ここで、最後のチュートリアルよ。

アイテムボックスを見て頂戴」

ん、なんか指輪が点滅しとる。

「それは、外史に入る際に支給される、契約指輪（支給品）よ。

新しい外史に入る度に一つ支給されるから、どんどん使っちゃってねん。

あ、一つ以上は支給されないし、外史を出る際には消えちゃうから、注意よん。

まあ、ポイントで追加購入できるものはスタックして、保存もできるから、よかったら使ってみてねん。

で、ここでは、その指輪の使い方を教えちゃうわよお。

おおよそ、真名を預けて貰えるっていうのは、一つの目安なのね。

ある程度の信頼や愛情・興味でもいいかしらん。

それを対象が貴方に向けているってことなの。

その時に、貴方がその契約指輪を相手に渡して、受け取って貰えたらのなら。

それは、その相手を貴方のM y外史に連れて行けるってことなのよん

でも注意してねん、M y外史に連れて行けるキャラクターは、一回の外史では重複できないの。

ここでは星ちゃんを貴方が連れて行くことになる、他のプレイヤーは星ちゃんに手が出せないのね。無論、桃香ちゃんだったり、愛紗ちゃんだったりなら問題ないわ……でも、その場合はご主人様がお邪魔伽羅してるから大変なんだけど（ボソ）

それから、指輪の機能なんだけど、M y外史へのマーカー以外に、他のプレイヤーやご主人様からの干渉を100ポイント分吸収してくれるのよん。

他にも貴方が星ちゃんに失望されたりする分も吸収してくれるから、指輪をつけている間は愛情だったり忠誠度だったりは下がらないのだけど、100ポイント超えちゃうと指輪壊れちゃうのよね。

だから、そうなったら新しい指輪を渡さないとM y外史には連れて行けないから注意してねん。

あと、条件としては外史終了や自分でのリタイヤだと問題はないけれど、プレイヤー死亡でのゲームオーバーだとキャンセルされちゃうから、こちらも注意よん。

それ目的のPK行為も有効だから、あまり欲張らないでリタイヤするのも大事ねん

それじゃ、チュートリアルは終わりよん。 シーユーねえん

なるほど。

指輪ねえ、ポイントで購入できるって言うと、どれくらいなんだ？

ああ、外史内で稼いだ給金みたいなポイントでも購入できるのか。

1000ポイントね、安くはないけど買えなくはない……って、上位版もあるのか。

5000ポイントで200負荷吸収、10000ポイントで300負荷吸収……ポイント換算がリアル10000円で100000ポイントだから、200版は500円、300で10000円かよ。

なんという、課金げー。

まあ、通常の支給品と同じのは1000円で事だから、一応はそこまで外道でもないのか？

って、なんかキャンペーンのポップアップが……なんか、知ってる名前の宝飾品ブランドが。

何々？ 期間限定コラボ企画、ブティック・ミクニの契約指輪をリアルで買おう？

ダイブタイトルの中の指輪を、リアルで同じデザインで作ったのか……気軽にプレゼントできないんじゃないかなあ。

まじで、普通にデザインはいいけど18万か。

それが今だと15万で、更に購入アイテムの新規追加コードつきね。

買う奴いんのかよ！！

ポチっとな。

品物は、当日発送いたしますというメッセージが帰ってきた。

キーコードは、発送番号だの何だのと一緒に、確認メールで送られてきたので、コピー入力。

「ポイントショップに新しいアイテムが追加されました」旨のメッセージに、確認しようとショップのウィンドウを開く。

NEWと新規追加のマークを探すと、50000ポイント・吸収
負荷上限なし・常時忠誠度上昇（微）という品が……リアルで5000円か。

たけえ、普通にアクセサリ買えちまう。

でも値段分の効果はあるんだろうな、これを見たら買わずにはいられないだろうってくらいの。

まさに悪魔のシステムだな。

まあ、買うけど。

おっと、外史の方に意識を戻さないと。

「では、趙雲どの、いや星どの。

私からは真名の代わりに、これを受け取ってはいただけませんか
な」

流れて、それとなく指輪を渡してみる。

「これは……いや、ありがたく頂いておきましょう」

趙雲さんは、目の前で指に指輪をはめてくれた。

普通であれば、ここで即座にリタイアしない限り、ここから他のプレイヤーだったり主人公の本郷一刀相手に、趙雲さんを掛けた丁々発止が始まるのだが……この課金アイテムのお陰で、とりあえず

俺が殺されてゲームオーバーにならない限り、キープできてしまう。
なんというバランスブレイカー。

とはいえ、実際に確実にキープできているのか、何かしらの手段で持つて行かれたりはしないか。

この作品の定石や、その対策なんて、まだ無知も良い所なだけに、せつかくのレアな武將を確保できたこの機会は、欲を出さずに素直にリタイヤしておくのがよさそうんだけど……せつかくだから、普通の人にも指輪を送りたい。

多分、チュートリアルで用意されたんだし、ライバルは居ない筈。と考え事をしていたら、気を利かせてくれたのか、趙雲さんが「少しお休みになれるのがよいでしょう」と席を外し、伯珪どのには目を覚まされたと伝えておきますとの事。

お言葉に甘えて、少し時間を進める事にした。

さて、アイテムボックスを色々と眺めてみると、自律行動中に購入したのか、結構色々と持っている+1や+2の装備型アイテムと+10や+15の消費型回復アイテム。

武器だったり、本だったり、アクセサリだったり、酒だったり食べ物だったり。

武器は武力、防具はダメージ軽減、本は知力や政治、軍配や羽扇は統率、アクセサリは魅力、酒や食物は運や体力等の回復に対応している。

また、プレゼントすれば忠誠度や親密度なんかが上がるのはい言うまでもない。

因みに外史世界の町中の商店で購入できる物は、其れなりの発展度なんかで判定されるらしく、+1や+2なんかが並んでいるのは俺の稼ぎが悪いのか、店の品揃えが悪いのか……というか、酒とメシが多いのはどういう事だ、自律中に趙雲さんの餌付けをしているという事か？

まあ、有力な武將を自勢力にキープしておく為、色々やっつい

たんだろう。

そのお陰で、イベント一発で指環を渡せるくらいの親密度になったんだろう……と思っておこう。

決して、たかられてた訳じゃないと信じておこう。

とはいえ、街レベルの影響を受ける店売りは、購入できるタイミングや場所に制限はあるが、かなり購入ポイントが控えめになっている。

ポイントショップでは、何時でもどこでも購入可能で、品物も無くなる事無く、課金アイテムも高レベルアイテムもも無差別に置いてあるが……桁が違う値段になっている訳だ。

お、忠誠度UPオンリー10UPが10000ポイント、20UPが15000ポイント、50UPが30000ポイント。

流石に支給リングを一発で吹っ飛ばす100UPは無いかと思ったら、100UPは50000ポイントで有りました。

「という事なら、50UPの酒と指環を買っというて」

とかやっていたら、戸を叩く音が。

「満腹、起きてるか？」

「ええ、はい。大丈夫でございますよ」

応えると、姿を現したのは我が上司の普通の人。

普通の人といっても、美人とは平均値の事だっという通り、立派に美人である。

赤毛のポニーテールが映える細い首元やうなじも、すんなりした理想的なスタイルも、十分リアルでは、お目に掛かれない代物である。

「どうした？　じろじろ見て。私なんか、珍しい物でもないだろ

う」

「とんでもない、何時も通りお美しいですよ。

騎馬を率いる時の伯珪殿は何時も惚れ惚れいたします」

「ば、ばか!!」

「はっはっは」

可愛いなあ。

「お見舞い頂いたお礼に此方はいかがですか？

良い酒が手に入ったのですが、傷に障るといわれまして、手元に置いておくと気になってしょうが有りませんので」

「ほっ、そうか。 頂いておこう」

ふむ、受け取って貰えたか。

「なあ、こいつを貰ったからって訳じゃないんだが。

真名を受け取って貰えないか」

「よろしいのですかな？」

「ああ、是非とも受け取ってくれ。

というか、星の奴の真名は受け取ったらしいじゃないか」

「ああ、まあ、成り行きで、お預かりいたしましたが」

「ふん……私も色々と考えさせられたんだ。

いつとくが、今回の事は余計なお世話だぞ。

これでも、友人の助けになる度量くらいは持っている。

それなのに、バツサリ斬られて……聞くと斬られに行ったらしいな。

気持は嬉しいが、お前でも居ないと色々と滞って大変なんだから」

「それは、済みません」

お前でも、と言われると少々傷付くが、まだレベル低いせいかなあ。

「星の奴も、お前の見舞いと称して、ひよいひよい居なくなるしな」

あー、それについては、俺のせいなんですか。

「ともかくだ、私はお前の事が見えていなかった。

居れば便利位に思っていたが、居なくなつて、これ程バタバタするとは思っていなかった。

星の奴を引き留めようと色々やってはいたが、お前が居る事には当たり前とも感じてたんだ。

だから、真名を預ける事もしてなかったしな。

でも、今回の事で、お前がこの土地を、どう思ってくれてるのか判つてな。

恥ずかしくなつたんだ」

「それは、買被りというものでは」

「えーい、うるさい。良いから受け取れ」

「では、私からは此方を」

といって、指輪を送ると。

「へえ、洒落てるじゃないか」

と、あっさり受け取ってくれた。

よし、普通の人ゲットだぜ。

じゃ、このままログアウトしますかね。

「ところでな」

おっと？

「実は、お前が倒れてから、仕事が滞っていてな。
その分を桃香達にやらせようかと思っっているんだが。
いや。もし、お前が気にするっていうんなら、すぐに追い出す
つもりだけだな」

どうだ？ と聞かれてしまえば。

「いえいえ、別段に恨みに思っている訳ではございませんので。
はくけ、いや、白蓮どのの思う通りにして頂いて結構でございますよ」

伯珪どの、と言いかけた時に妙な殺気を感じたので、慌てて言い直したが正解だったようだ。

「そうか、それじゃあ遠慮なく使う事にして、お前にも監督くらいはして貰うからな」

じゃあ、今日は体を休めておけよ。

と言い残していく普通の人……これは、チャンスなのか？

たしか、wikiでは関羽ゲットはまだ無かった筈。
もう一回、確認してみよう。

FAQ

Q 武将ゲットって、どの辺りまで実績あるの？

オススメと方法とか教えて下さい。

A、オリジナルでここにカキコのあるのは、チュートリアル時に普通の人。

黄巾の時のドサクサで張三姉妹、河北決戦の時の袁紹陣営三人組。

孫呉復興時の袁術とバスガイド、南蛮でニヤンコと量産型。

未確認で、可能性の高そうなのが、赤壁時の瀕死黄蓋、定軍山のイベント時の夏侯淵、反董卓連合時の董卓・賈馱、華雄とかか？ あ、黄巾時のあわわ&はわわもか。

因みにチンコ太守が陣営に居ない時ね。

A、加入イベント前の、魏の三羽烏を忘れてる。

A、夏侯淵は無理じゃねえ？ イベントで、いくら下がってたと思うのに、100以上下げててもブレイクしねえ。

そして華琳さま登場後に、必死で300下げててもブレイクしねえ。

というか、三君主って忠誠上げ能力チートじゃね？
それか、無効化されてる？

A、魏陣営と接触前の三羽烏の内、于禁に社練のブランド抜苦を必死で貢物。

慌てて100ロックかけてたのが、華琳さま登場の霸王オーラ一発でブレイクしたでござる。

A、蜀漢大徳フラッシュ・曹魏霸王オーラ・呉国三代ブラッドは所属陣営の相手だと100ロック簡単に抜いてくれるよな。

A、変な名前つけるな（w 因みにチンコ太守もナデポー一発で6

0 近く削ってくるぞ、陣営関係なしに。

A、食い物系の貢物を無限に食ってくれる張飛たん相手にテストした結果、陣営所属は凡そ300前後のロックが掛かっている模様。一回ブレイクして、100ロックかけて、またブレイクされたあとは100ロックが掛かっている。

ただし、この100に関しては、半端に削っても何時の間にか、上限まで戻ってるっぽい。

A、前述の夏侯淵の場合、削りよりも華琳さまパワーで上がる方が大きかったってことか？

それかブレイクしないとか？

A、袁術、袁紹、董卓組もだけど、基本的に君主がブレイクしないと他のメンバーが、アレ？ ブレイクしねえなってることねえ？ でも、そのすぐ後にブレイクするから、忠誠自体は落とせてると思う。多分、君主が落ちる前は1で残っちゃうんじゃない？

A、いや、それだと張飛がブレイクするのが、おかしい。相手が近くに居るとかの条件か？

A、おお、そういえば、あの時はチンコ太守も劉備も居なかったな。

A、雑談になってるが、纏めるところか。

陣営に所属してない・所属陣営がコケた辺りの武将はゲット出来る可能性が高い。

陣営所属者は初期に300ロックが掛かっている。

君主が居るところではブレイクしない。

ブレイクしても、またブレイクされると100ロックかかる

（回復あり）。

また君主が居なくても、チンコ太守に落とされると、そっちにも邪魔される。

こんなところか？

A、瀕死にして、首輪で何とかできないのかな？

A、うわ、外道が居るぞ。

首輪って、バイオレンス規制外して、ヒヤッハーするときし
か使いでがくないか？

それに自分で何とかできる相手くらいしか、無理っしょ。

武将相手だと黄巾部隊二千とかでも、サクッと逃げられるし。
山賊頭目とか、ヒヤッハーしても忠誠下がないモ武将を
十人くらい集めても、返り討ちでブツ殺されてロストだし。

下手に無理して割合ゲットしやすい普通の人とか使っても、
金掛けて最低200ロックとか使ってないと、闇討ち命令した時点
で1000ロックだと即ブレイクして出奔しちゃうし。

300でも、多分勝負が付く前にブレイクして割りに合わない
いし、一瞬のテストに10000円を人数分無駄にするとか無理だわ。

A、そこまで詳しく想定できるオマエが、ここ一番の外道じゃね
ーだろーか。

だれか、ブティック・ミクニのアレ買ってくれ。 500と
か、1000ロックとか買えるように、なるんじゃねえか？

A、アレ、今日の正午で、キャンペーン終わったらしい。
今新しいのが出てた。

5万のペンダント買ったなら、アイテム購入追加だつてさ。
結局、誰も買わなかったんだろーな。

5000ロックとか10000ロックとか、いらねえし。

300削れるって、どんだけアブノーマルなこと強要……いやいや。

イチャラブするなら200で十分だろ。

A、情報はエエ、つか、リアルタイムのチャットみたいになるな。

皆ダイブ中か？

因みに5万ならイケル！！　と言う事で人柱行ってきた。

500ロックが2000円で買える。

しかも、負荷の回復（弱）付き！！

恐らく、前のは800か1000ロックの回復付きが、3000円か4000円だったと思われ。

A、長い目で見れば……いや、前提の5万が無理だ。

やっぱし、いらねえなあ。

あ、首輪って結局は村人用とかか？

A、璃々ちゃんになら、璃々ちゃんにならいける！！
他にも軍師連中ならボコれるやもしれん！！

A、ちょ、おま、天才かオマエ！！

リリちゃん捕まえて、人質にして黄忠さんを！！

A、ちよつとまていい！！　お巡りサーン！！　犯罪者がここに居ます！！

因みに、上手く璃々ちゃん何とかできても、黄忠さんは見えない所からドタマにヘッドショット食らわしてくるから、脅迫状出して場所指定して待ってる時点で死亡確定です。

指定してなくても璃々ちゃん泣いた時点で、矢が飛んでくるけどな。

A、おまわりさーん！！

なんかグダグダすぎるが、情報は得られたな。

因みに新しいキャンペーン品も買っておいた。

ポチってコード入力したら、20000ポイントで500ロックが買えるように。

あと、首輪って……もしかして俺なら、忠誠下がない指輪を使える俺ならなんとかなるのかな？

なんというバランスブレイカー！。

だから、買った奴がいても、書きこむ奴が居ないのかもしれないな。

でも、それなら関羽・張飛は欲しいな。

ヒャッハーするかどうかは別にして、チャンスではある。

書き込みを見ると、張飛は食い物系の貢物は無制限とか書いてるから、ブレイクさせやすいだろう。

ただ、対象を個別にしておかないといけないらしいから、仕事を割り振れる権限を握れそうなのが本当にチャンスかも知れない。

ここはアイテム買って、用心しながらダイブ継続だな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9996y/>

恋姫†無双オンライン

2011年11月30日19時58分発行